

# 広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話 (018876) 代 2100番  
印刷所 湖 東 印 刷 所 電話 (018876) 2430番 一部 5円  
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

## 人口と世帯

世帯数 3,931 世帯  
人口 17,770 人  
内訳 { 男女 8,582 人  
9,188 人

住民登録調 (48年9月末現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。



### 楽しい

### イモ堀り

今日は幼稚園児(五幼)のイモ堀りだ。その日の空はあくまでも高く澄んで、地球を青く染めていた。はるかに続く緑の畑を園児たちは色とりどりにくわり繕う。俺様たちのお通りだ。

取り残されたブドウの熟れた甘さは過ぎた夏の終えんを、たわわなナシの枝は秋の深さを語りかけていた。

十五分間のブドウ狩り。はじめは処女の如く熟れた実を静かに口へ運ぶ。ひたかくされたワシバク次第に発弾、後は脱兎の如くブドウの房に群がる。折悪しく、蜂の連中もブドウ狩り。チクリ、チク、チク、蜂、注射。ワシバク坊主三人ジットガマンの子。まわりの園児心配そう。大人は言った。「そこから大きくなるんだよ。」

さて、いよいよイモ堀りだ。手袋で武装する子、素手の子さまざま期待の目の色キラキラ。

もみじのような小さいヤな手で、砂をかきわけ、かきわけ、堀る堀る堀る。「センセイこれジャガイモだがア」「いやサツマイモですよ。」

両手にあまるイモを堀りあてる。やおら立つ。「センセイ、見れコラアオキベ」「ヤアアゴイネ」イモを両手で差し上げる。グルッと一回転、友だちに大きさを誇る。休いっばいに喜びをあらわす。

餓鬼も人数(失礼)たちまちイモの山がでさる。その間をかこむ園児たち、自分の充実した作業に満足そう。

秋の日差しに守られて、楽しく自然と語り合った一日であった。

(写真は県立金農高農園で)

### 広報サロンの

社会見学をおえて

大川小六年 嶋崎 富貴子



私達は、八月十日おかあさんと五城目町の社会見学をしました。

学校、史跡、学校林、貯水池などです。私は、五城目町に住んでいながら、五城目町のことについて、あまりよく知っていませんでした。そのため、私にとっては、ほんとうによい勉強でした。

まず、学校林を見ました。きれいに植えられたこのスギが私たちの先輩が植えられたと知り、おどろきました。

貯水池では、大きな機械があり、その機械から、しずくがぼたぼたと落ちていました。

私は、貯水池だという感じがよく表れていると思いました。二階へ行ってみると、浄化された水、浄化されていない水がたたくさんありました。

浄化された水は、水道からでてくる水よりきれいに感じられ、これだけ水ではない水は非常に水が、きれいになって、私達の家の水道から出てくるとは想像もできませんでした。

私はこの日の見学で、他の町の子もたちに、五城目町のことを聞かれても、しっかりと教えられる自信ができました。

# 石崎遺跡

## 東北古代史の解明に期待

### 第三次発掘を十月二十七日から

三カ年計画で発掘されその調査結果が東北古代史の解明に重要な役割を果たすものと斯界から注目されている石崎遺跡は、いよいよ最終ラウンドを迎えている。来る十月二十七日から東北大学教授高橋富雄博士を団長とする七名の専門家達によって調査が開始される。

### 東北地方四十年振りの新発見

昨年(昭和四十二年)の第二次調査により発掘された柱脚や、逆茂木(さかもぎ)などの資料により東北でも有数の古代城郭の跡であることが裏付けられている。

が堆物川とまじりであったと一応考えられていたものが、更に馬場川地域にまで、確実に時の政府が経営開拓していたものと確認されるに至り、これは、日本の古代国家の責任範囲を判断するために極めて重要な記念碑となるものである。

### 石崎遺跡は創建期の秋田城

石崎遺跡は、古代の創建期秋田城にかかわる城である。現在出ている遺跡の状況から奈良時代であることは、はっきり断言できないが発掘された遺物からして、平安時代における秋田郡衙の跡であると断言してよいと思う。

秋田郡衙としか言えないものを何故創建期の秋田城に結びつけるかという、これは文献上の考察からして確実な根拠がない。秋田郡という行政単位が正式に発足するのは桓武天皇、坂上田村麻呂達が蝦夷征伐をした(延暦二十三年、西暦八〇四年)であり、このとき、秋田城を廃止して河内府に移っている。

東北地方、特に日本海側における古代の役所や城は、秋田城をもって北限とし、それが定説となっていた。いわゆる古代国家の経営

民にせよという法令がちゃんとしていた。もし、秋田郡役所とはっきり言えるものを我々が発見した場合、それはさかかばかして創建期の本来の秋田城の後をきたものであるということになる。秋田郡衙が確定に言えるという事は、とりもなおさず創建期の秋田城の後を受けつたものであつて、その位置が確実にもとの秋田城の位置になるという事になる。ただ現在発掘されている施設が本来の秋田城のものかどうかということについては先程保留したが、この石崎遺跡の位置が創建期の秋田城の位置であることは間違いないと思つていい。これは、従来の秋田城に対する見解に大きく低触してくるのでこれまでこのような議論を全くなされておかないので、私も非常に慎重を期して発言しなかつたが、現在ではそう言い切つて間違いないだろうと思つている。我田引水的是があるが、おそらく学界でもほぼ異論なくおさまるものとみていい。

### 「元慶の乱城北郡南」にビタリ

秋田郡役所と推定した根拠は、平安時代に出来た「三代実録」という文献の中に、元慶二年におきたいわけ、元慶(がんぎょう)の乱で、秋田城が失陥するという大事件が起きて、秋田城及び秋田郡民がほろほろされたこと、郡民といふこと、秋田城と秋田郡役所とが焼けほろばされた。あるいは破壊されたときにこの二つが並べられて書かれている。

それでは、この二つが軒先を並べて一カ所にあつたのかというところではなく、離れて建つていたとみられる。それは次の言葉がその状態をよくあらわしている。「城北郡南、公私の舎宅がことごとく焼けほろばされた」とあり城北というのは秋田城の北という意味で、郡南というのは城に対する部であるから、秋田郡衙から南で建てたことを示している。従つて秋田城と秋田郡衙は離れて建てたこと、秋田城の建てた土崎から北に秋田城と並ぶ重要な国の施設として、秋田郡衙が置かれたということがはっきりしてくる。

のあった時支援してくる人も城もない。非常に守備の上から困難を期すから、秋田城の施設を河内府に移した。移したあとは秋田郡役所にしたいとしている。この記録に対して、歴史家は従来どんな見方をしていたかという、秋田城を建てたから四十年とつていたこと、これまでの常識になっていたものと非常に低触してくる。普通秋田城といふのは、初め、出羽欄として秋田におかれたものをある時期において秋田城と改称したもので、それから長い事高清水の岡に出羽欄が建てたからさうして七十年たつていくわけである。このような経緯からして出羽欄が名称を変えただけならば、秋田城は創建以来七十年と言わなければならないし、それを四十年と言つて三十年の開きがある。このことから私どもは、従来秋田城が出羽欄そのものの名称を変えただけだという考え方は、文献の理解の仕方としてはつり合わないし矛盾であつて、秋田城と出羽欄は別なものだといふように考えなければならぬ。それから秋田城を廃止して、河内府に移し、元の秋田城は秋田郡役所にすると書いてあるところから、もし延暦の二十三年以降となると平安時代における秋田城の位置がはっきりすれば、その秋田城の位置がとりもなおさず河内府の位置だと考えることが当然である。

### 石崎遺跡は間違いない秋田郡衙

私達は現在、土崎にある秋田城から北の地域におつてある程度秋田城と並ぶような立派な古代の遺跡として確認しているものは、石崎遺跡のほかにはない。この遺跡のほかにもまだどこにあるかと探しても出つこない。掘つてみないとおもつたが、いかうかという方もおもしろい。いかにうかがうも伊達や粹狂でこんなに立派なものをもそんなに数々建設することはあり得ないことだし、後は掘らなうとも間違いない他にはないと言つて差支えない。

このような関係から石崎遺跡がいわけの秋田郡衙に当ることがわかつてくるわけである。

### 秋田城創建期の定説に矛盾

さて、これがなぜ創建期の秋田城になるかという、当時の文献にはっきりと書かれてお、延暦二十二年出羽欄から、太政官(だじょうかん)に申請し、政府が決定した記録に「秋田城といふのは延暦二十三年から四十年前に建てた城である」ところが非常に北側に片寄つていて、土地の爽りもよくない、しかも近隣には、いざ事

とみられる。それは次の言葉がその状態をよくあらわしている。「城北郡南、公私の舎宅がことごとく焼けほろばされた」とあり城北というのは秋田城の北という意味で、郡南というのは城に対する部であるから、秋田郡衙から南で建てたことを示している。従つて秋田城と秋田郡衙は離れて建てたこと、秋田城の建てた土崎から北に秋田城と並ぶ重要な国の施設として、秋田郡衙が置かれたということがはっきりしてくる。

### 日本古代史を書き換えていく

以上述べてきたことは厳密に言う方で、私がそのような見通しと考へて、今年(昭和四十二年)の調査によつてこの見通しを真すく推進できるのか、あるいは若干の修正を必要とする余地があるのかは、掘つてみたところ謙虚に事実を即して考えてゆくことと思つてはば間違いないものと思つている。(以下略)

※この内容は一時間三〇分におつて講演された中から一部抜粋したもので、重複したところを記載した。

石崎遺跡発見は、文献上の理解を容易に、

第五大潟村入植者の募集がつぎの要領で開始されます。新生の大地に新しい農業を打ち立てようという意欲のある方は役場産業課へお申し込みください。

◆募集期間  
十月十七日～十一月十五日

# 農業マンのユートピア 大潟村の入植者募集始まる

ただし、町を経由し町で意見を附して十一月十五日までに東北農政局へ着くようにするため、町では十一月五日までに、同日まで、同日までに県に提出することになっております

第五回  
入植者の募集にあつて

八郎潟新農村建設事業は、八郎潟を干拓し造成された土地に将来の日本農業のモデルとなるような大規模な農業経営と近代的な農村社会をつくる目的で、国及び八郎潟新農村建設事業団によって進められてきており、工事の完成も間近になっております。

すでに現在まで四百六十戸の農家が入植し、生産性及び所得水準

の高い農業経営を営みながら、新しく設立された大潟村の村民生活を送っております。

今回、近く工事が完了する部分について入植者を募集することになりましたが、一戸当りおおむね十五haの経営規模で田畑複合経営を営もうとする農家は一〇〇戸程度予定しております。

八郎潟新農村建設事業の趣旨を理解し、有能で熱意にもえたる人々が応募されることを期待します。

入植者の資格条件

入植者は、原則として次に掲げる資格条件をすべて満たす者でなければなりません。

①新農村建設事業の意義を十分に理解し、大規模な農業経営の確立に意欲をもやしている者であること。

②入植後の営農において、水利用作付協定、機械、施設の共同利用等について互いに十分に協働できる者であること。

③入植に先だつ訓練等により、大型機械、施設の利用による新しい農業経営に必要な知識、技能を習得する能力があること。

④年齢は、申込時において二十才以上四十才未満(とくに身体強健で営農の経験が十分な者)にあっては四十五才未満)で、機械使用を中心とする強度の労働に耐えられる十分な体力があること。

⑤営農に従事できる世帯内の労働力が、次の換算により、一・八人以上に相当する世帯構成の者であること。

勞働力の能力換算表

十六才以上十九才	男	〇・八〇人
	女	〇・六五人
二十才以上四九才	男	一・〇〇人
	女	〇・八〇人
五十才以上五九才	男	〇・八〇人
	女	〇・六五人
六十才以上六九才		
〇・六五人以下で適宜考慮する		

なお、十六才以上でも就学中又は他に職を有する者は0人とする。

⑥携行資金として、入植後の営農を圧迫するおそれのある負債の額を差引き入植初年度の営農のための資材の購入費や資金などの支払に必要なる資金を携行できる者であること。

なお、所要携行資金額は、入植当初の家族人員別でおおむね次のとおりと見込まれます。

家族人員	携行資金
一人	三〇〇万円
二人	三三〇万円
三人	三六〇万円
四人	三九〇万円
五人	四二〇万円

入植する世帯構成者のうちに、農地を所有する者がある場合は、干拓地の所有権を取得するまでに、すべての所有農地を所在市町村の農業構造の改善に資する



ワークキャンプでいこいの森を清掃 ～大川青年会

過日大川青年会では雀館児童館を中心にワークキャンプを実施したが、その活動の一環として「岩野山保林」において、みどりの広場その他を全面的に清掃した。他の社教団も是非見習ってほしいとは各関係者のご意見。

よう処分することが確実に見込まれること。

入植の手続き

入植希望者は、上記の入植者の資格条件をよく読んで、自分がこれに合致しているかどうか判断してください。資格条件のうち一つでも不適合な場合には入植することはできません。

入植申込みの期間は、農林大臣が土地配分する旨を官報に公告した日から三〇日以内に国の機関に届くよう十分の余裕をもって、配分申込書に必要な事項を記入して正本一部、副本二部を、医師の診断書などの添付書類とともに、役場に提出してください。

入植者の選定に至るまでのスケジュールはおおむね次のとおりです。

一、土地配分計画の公告 四十八年十月十七日

二、配分申込みの締切り 四十八年十一月十五日

三、選定審査 四十八年十一月下旬～四十九年二月中旬

四、入植者の選定 四十九年二月下旬

五、入植者の訓練 四十九年四月～十月

国土調査法第十七条第一項の規定により次のとおり秋田県知事の告示がされましたので関係者は閲覧して下さい。

昭和四十八年十月十一日

五城目町長 加賀谷力司

秋田県告示第五四六号

秋田県知事職務代理人 秋田県副知事 松橋 勝吉

一、調査を行なつた者の名称 秋田県

二、作成した地図及び簿冊 八郎潟周辺地区五城目町工区 地籍図、地籍簿

三、測量及び調査を行なつた地域 南秋田郡五城目町富津内中津又字北村の一部、字釜の沢の一部、字川堤の一部、字滑多羅の一部、字上北口の一部、字下北口の一部、字高野の一部、字小沢口の一部、字八幡下、字黒土の一部、字石動の一部、字落合の一部、字内川浅見内字上百刈、字浅見内字滝の下、字猿田沢、字大場、字猿田沢口、字大塚の各一部

四、閲覧期間 昭和四十八年十月 十一日から 昭和四十八年十月三十一日まで

五、閲覧場所 南秋田郡五城目町役場

関係者の便を図るため次のとおり関係部署に出張して閲覧させていただきますから当日都合お繰り合せの上閲覧して下さい。

十月二十四日 落合 落合公民館

十月二十五日 北北口 伊藤勇誠宅

十月二十六日 浅見内 浅見内公民館

◆午前十時～午後四時

# 秋田米にきびしい試練

## 〜悪い乾燥と品質〜

このほど一千万人を越す米の大消費地東京都から、米販売業者(主食卸売業者)四十人が米どころ仙北地方にやってきました。千畑村で同地方の各町村、農協百協部や経済連、産米改良協会等関係者二十人と秋田米の品質や出荷のあり方について懇話した。その時の記録をここに紹介したい。

### 品質

◆新駕、宮城県産米は味がよいと消費者から名指してくるが、秋田の銘柄は評判が悪い。  
◆八月末の在庫が、北海道の非名銘柄米さえ残っていない時に、秋田、山形のトヨシキキ、キヨ

ニシキだけ残ってしまった。  
◆四十三年の大豊作のとき、秋田米の質はともよいといわれたが、検査上から見ただけで、調整などの評価だけで、消費者や米業者の声ではなかつた。以来うわべだけの評判に秋田の生産者は自信過剰になったようだ。

◆良質米時代に入ってからすでに五年目、それなのに秋田県の生産者は、いぜんよと多取一本ヤリの感じになつて多取。その証拠に今だにレイメイを植えている。業者はレイメイと聞いてただけでノイローゼになる。消費者はソッポを向かれる品種

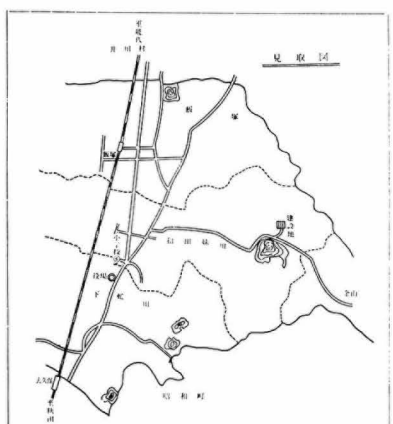
を、作業し易いとか、倒伏しないとか消費者不在の栽培精神は理解できない。

◆秋田県ほど奨励品種が変わるのも珍しい。奨励品種に一貫性がないという事は、それだけ消費者から忘れられる要因にもなる。他県より良質米作りの研究に対する態度に真剣味が無いことが伺われる。

えすればよいという時代は過ぎ去り、多くの商品と目されるようになってい

◆秋田の米は乾燥が悪い。その原因を自然乾燥から機械乾燥に移したためというが、それは非解にすぎない。他県はそのような例がない。  
太陽熱の自然乾燥が品質を保つ上で最高であることは勿論だが、これと人工乾燥と合わせて操作して、一年の労苦を無駄にしないではし。

以上米屋さん達から要望された概要を述べたが、米もただ生産さ



**火葬炉の修理について**  
10月20日頃より11月5日まで火葬炉の修理を行う予定なのでその間使用されることになる方々は湖東地区組合立葬斎場を使用されるよう(話し合い済)お知らせします。なお料金は1,800円となっております(建設地)は上記の見取図のとおりです。詳細は役場窓口におたずねください。

# 放送二題

## ◆おほよう日曜ひろば

二十一日  
NHK TVでは毎週日曜  
日午前七時二十分から八時  
三十分まで、東北一円向け  
として「おほよう日曜ひろ  
ば」を放映しているが、来  
る十月二十一日「秋」を菜  
む」というサブタイトルの  
番組に、本町の岡本部落の  
金美智明さんと、湯の又部  
落の沢田石徳三郎さんが「  
キノコ取り」プロフェッシ  
ョナルとして出演する。

その二「スタジオ102」  
二十五日  
今一つは、同じくNHK  
のテレビ番組で、来る十月  
二五日の午前七時二十分か  
ら七時三十分までの「話題  
のひろば」に、そして午前  
七時五十分からスタジオ10  
二で本町の市場開設風景が  
生中継される。タイトルは  
「秋を結ぶ」というので、  
宝の山々から取つて来た「  
キノコ」をはじめ、実り豊  
な秋の風情が全国に紹介さ  
れる。

当り、市場関係者は午前  
七時には販売できるよう  
な体制を整えてくださるよう  
ご協力をお願いします。  
テレビの中継は七時から  
活動を開始しますので午前  
六時三十分から八時三十分  
まで市場内の駐車と車の通  
行はできません。

# 五城目町文学作品募集

## 昭和四十八年度

- 一、趣 旨  
広く町民から文学作品を公募し  
すぐれた作品に対して賞を与え  
るとともに、「五城目町文学作  
品集」の普及と振興をはかる。
- 二、主 催  
五城目町教育委員会、五城目町  
芸術文化協会
- 三、募集要領  
①募集部門  
短歌、俳句、川柳、詩、隨筆の  
五部門
- ②募集の制限、資格  
短歌、俳句、川柳はそれぞれ  
一〇首(句)
- ③賞 賞  
詩は三〇行以内、隨筆は四〇  
〇字語原稿用紙で七枚以内  
応募者は一人一部門につき一編  
とし、作品は未発表のもので  
あること  
応募できる方は五城目町の町  
民であればどなたでもよい
- ④発 表  
昭和四十八年十一月二十日  
十二月三日(日)に開催予  
定の「五城目町文学祭」にお

- ⑤応募上のきまり  
(1)作品はすべて四〇〇字語原稿  
用紙を使用して、楷書で書くこと  
向かなつかい、新旧いずれか  
に統一すること  
(2)原稿には、部門、氏名、号(長  
本間敬三)は、昨年から、大川  
下樋口の笹川兼吉と申仲氏を  
都の黄金井酒造にメロンを卸して  
いるが、同時に全日空の早崎氏を  
通して、東京並びに常陸宮様に館  
越メロンを献上している。  
今年もまたお届けしたところ、  
五月十日愛鳥週間つなで本町  
を訪れた宮様はことこのほかお喜び  
あそばされ、いろいろと思ひ出を  
語つておられたこと、侍従長を通じ  
てその様子とお礼が深いもの。宮様  
と本町のきずなは甘く深いものに

「五城目町文学作品集」に収録  
する  
④審 査  
作品の審査は、主催者の委嘱す  
る審査員によつておこなう  
⑤応募上のきまり  
(1)作品はすべて四〇〇字語原稿  
用紙を使用して、楷書で書くこと  
向かなつかい、新旧いずれか  
に統一すること  
(2)原稿には、部門、氏名、号(長  
本間敬三)は、昨年から、大川  
下樋口の笹川兼吉と申仲氏を  
都の黄金井酒造にメロンを卸して  
いるが、同時に全日空の早崎氏を  
通して、東京並びに常陸宮様に館  
越メロンを献上している。  
今年もまたお届けしたところ、  
五月十日愛鳥週間つなで本町  
を訪れた宮様はことこのほかお喜び  
あそばされ、いろいろと思ひ出を  
語つておられたこと、侍従長を通じ  
てその様子とお礼が深いもの。宮様  
と本町のきずなは甘く深いものに

常陸宮様献上メロンで  
わが町に思いをはせる



昭和48年度 秋季狂犬病予防注射日程表

Table with columns: 月日曜日 (Date/Day), 実施場所 (Venue), 集合範囲 (Collection Area), 実施時間 (Time). Rows are organized by date from 10/22 to 10/26.

あなたの農地は どのようになっていますか

農地を守る最後のとりで 農地利用計画の縦覧について

農地を守る最後のとりで 農地利用計画の縦覧について

農用地区域

農用地区域 一、国のすべての補助事業が集中的に行なわれます。

非農用地

非農用地 ①国による農業上の補助はうけられません。

昭和四十四年九月農業振興地域整備法が施行されました。

この制度により昭和四十八年三月三十一日指定をして、今後五年間(農用地)と農業以外にも利用さ

①譲渡所得税(普通百万円以上) ②登録免許税(登録料) ③不動産取得税は普通評価額の三分の一が軽減されます。

稲藁は焼かないで 地力増強のため堆肥に

稲の取り入れもいよいよ最盛期に入り...

稲藁を焼かないで 地力増強のため堆肥に

どうしても焼却するよりよい方法がない場合は、広く住民にいろ

秋の行楽期、農繁期を迎え、九月二十一日から十月二十日まで行

「家の子に限つては」という気持は持たず、話し合いの場を多くし、健全な家庭造りにより、

国民年金

前納について 国民年金は、値上りすることになる時は、

保険料前納金額表 (年を単位として前納する場合)

Table with columns: 前納する月, 48年9月, 48年10月, 48年11月, 48年12月, 49年1月. Rows: 定額保険料, 前納する時の額, 割引額.

2 附加年金保険料

Table with columns: 前納する月, 48年9月, 48年10月, 48年11月, 48年12月, 49年1月. Rows: 定額保険料, 前納する時の額, 割引額.

3 五年年金保険料

Table with columns: 前納する月, 48年9月, 48年10月, 48年11月, 48年12月, 49年1月. Rows: 定額保険料, 前納する時の額, 割引額.

稲藁を焼かないで 地力増強のため堆肥に

秋の行楽期、農繁期を迎え、九月二十一日から十月二十日まで行

「家の子に限つては」という気持は持たず、話し合いの場を多くし、健全な家庭造りにより、

秋の行楽期、農繁期を迎え、九月二十一日から十月二十日まで行

「家の子に限つては」という気持は持たず、話し合いの場を多くし、健全な家庭造りにより、





保健衛生

十月の業務案内

おしらせ

二十一日 後六時半
夜間結核検診（本町以外の地区）
三十日 前九時
大掃除入り指導（本町部）
三十日 後六時半
夜間結核検診（本町以外の地区）
三十一日 前九時
大掃除入り指導（本町部）

二十一日 後六時半
夜間結核検診（本町以外の地区）
三十一日 後六時半
夜間結核検診
（本町部以外の地区）

十月二十四日～二十五日

ふる里電話と電信電話展を開設
電話で愛の便りをどうぞ

五城目電報電話局では、第二十四回電信電話記念日にちなんで、十月二十四日、二十五日の二日間にわたって、出かけきき、あるいは県外就職の方々と近況を伝え合う古里電話と、暮らしの中の電信電話展を開設する。

場所は、五城目町下町長谷川倉太郎氏宅（和田家具店隣）で、兩日とも午前九時から午後四時まで

11月 ごみ収集日

Table showing garbage collection dates for various districts in the 11th month, with columns for district names and collection days (1 to 5).

で、通話料は無料サービスをする。電報電話局では多数の方々から利用されるよう望んでいる。

善意銀行預託のお知らせ

このほど町の善意銀行へ左記のように預託がありましたのでお知らせします。

一、金二万円、古川町 伊藤富司
（祖母故伊藤シノ殿香典返し）

一、金一三、二〇〇円
県立五城目高等学校生徒会
（先般開催の学校祭の事業収入）

伊藤さんの方は町の福祉事業へ五高生役立ては、五城目町老人ホームへ役立て下さいとのこと

一、レコード一枚（LP版）
大川四区 加藤ハナエ
六月から老人ホームによせられた善意登記のとおりです。

六月二十七日
サンマ魚 三、〇〇〇円
五城目町 佐藤 芳雄

七月五日 バナナ一〇キログラム
五城目町富津内落合老人クラブ
七月十一日 菓子類三、〇〇〇円
五城目町新畑町 嶋崎 正三
九月四日 美容奉仕作業
南秋田郡美蓉組合
組合長 畠山三男以下二十五名

九月五日 赤飯、タオル六五人分
天王町二婦人会

九月八日 座布団カバ、マクラカバ、前かけ、菓子類
五城目高等学校家庭科生徒会

九月十三日 菓子類
秋田県知事 小畑勇二郎

九月十四日 足袋ソックス、ブドウ
五城目町大川 伊藤ハルエ

九月十四日 チリ紙、歯ブラシ、石けん
湖東病院看護婦会

九月十五日 梨、ブドウ
昭和町大久保 畠山 ミキ

誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

「青年の宿」に参加して
田町 渡辺 知美子



田町 渡辺 知美子

「青年の宿」に参加して
「職場」を持つ
青年を
五城目町公民館
通勤させる
と、ただこれだけ理解できる
のである。たまたま職場は商
車のようなもので一つの商が狂
うとすべてに影響ははびる。
私たちがたいに尊重し合ひ、理
解しあうことにより、順調に商
車を回してゆかなければならな
い。
映画鑑賞は、若い恋人たちを
中心に目的を持つことによつて
人生を新しく転回させようとする
若い力の満ちた物語であった。
映画と関連させ一時間「生きが
い」と青年の連帯について」と
いう課題で話し合ひがおこなわれ
た。話しが深まるにしたがつて
みんなの顔と目がはんと不思議
に輝いてゆくと、これが不思議
であった。
こうして二晩、あつという間
に過ぎてしまった。しかし私は
ほとんどよい体験ができたと思
っている。一本の管の中をモ
ロモロと、よのくに往復しようと
して、自分の中に半ば絶望をもっ
ていて、そんままではいけない
にしても、そんななかから大事
な役目を果たしてくれたことは確
かである。

二十日朝、私は軽い気持ちで「青年の宿」を出た。まるで初め
から体操と朝食をすませそぞそ
れの職場に向かった。なぜか

つより足どりの軽いのは私は
感じた。
二十日午の晩が来た。昭和町民
俗資料館長在々木房生先生の講
義が始まった。「職場の人間関
係」と題して明るく楽しい職場
づくりのために、私もたちはど
うあるべきかといふことを雑談も
含めて押し進められた。私が先
生の講義の中でもっとも感銘し
たのは、「素子人間を人間として
尊重せよ」といふことである。
私は職業一年生なので人間関
係のむずかしさはよくわからな
い、ただこれだけ理解できる
のである。たまたま職場は商
車のようなもので一つの商が狂
うとすべてに影響ははびる。
私たちがたいに尊重し合ひ、理
解しあうことにより、順調に商
車を回してゆかなければならな
い。
映画鑑賞は、若い恋人たちを
中心に目的を持つことによつて
人生を新しく転回させようとする
若い力の満ちた物語であった。
映画と関連させ一時間「生きが
い」と青年の連帯について」と
いう課題で話し合ひがおこなわれ
た。話しが深まるにしたがつて
みんなの顔と目がはんと不思議
に輝いてゆくと、これが不思議
であった。
こうして二晩、あつという間
に過ぎてしまった。しかし私は
ほとんどよい体験ができたと思
っている。一本の管の中をモ
ロモロと、よのくに往復しようと
して、自分の中に半ば絶望をもっ
ていて、そんままではいけない
にしても、そんななかから大事
な役目を果たしてくれたことは確
かである。